

お知らせ

平成 22年3月2日

資料提供先: 島根県政記者会

山陰自動車道「斐川IC～出雲IC間」 開通効果について(開通後3ヶ月)。

平成21年11月28日(土)に開通いたしました、山陰自動車道 斐川IC～出雲ICの開通後(3ヶ月)の開通効果をお知らせします。

【現在の交通利用状況】

- ・開通区間(斐川IC～出雲IC間)を平日2,300台/日、休日2,900台/日が利用

【効果1:交通の転換】

- ・一般道路から山陰自動車道へ、休日2,500台/12h(6%)が転換

【効果2:大型車混入率の低下】

- ・国道9号の休日の大型車混入率が約3%低下

【効果3:時間短縮】

- ・斐川ICから大島交差点間の所要時間(平日、休日とも)
国道9号利用の28分が、山陰自動車道利用で14分に短縮
国道9号利用の28分が、同じ経路で23分に短縮

【効果4:波及効果】

- ・開通に伴い企業が山陰自動車道を活用した動きが出てきています。
(企業の声)
 - 関東・関西への長距離運行で20分近く(ピーク時間帯)時間短縮できたと思う。
 - 高速道路は事故の危険性が低く、安全確保の面でも非常に助かる。
 - 交通機関のアクセス時間が短縮され便利になった。

【問い合わせ先】

西日本高速道路株式会社 中国支社 松江高速道路事務所
島根県松江市浜乃木8-2-31



総務課長 : たかぎ よしみ 高木 良美

工務課長 : つのだ なりあき 角田 成昭

電話 0852-25-7860(代) FAX 0852-25-7858

【現道交通に関する問合せ先】

国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所
島根県松江市西津田2丁目6番28号



副所長(改築) : つねまつ ひろし 常松 宏 (内線204)

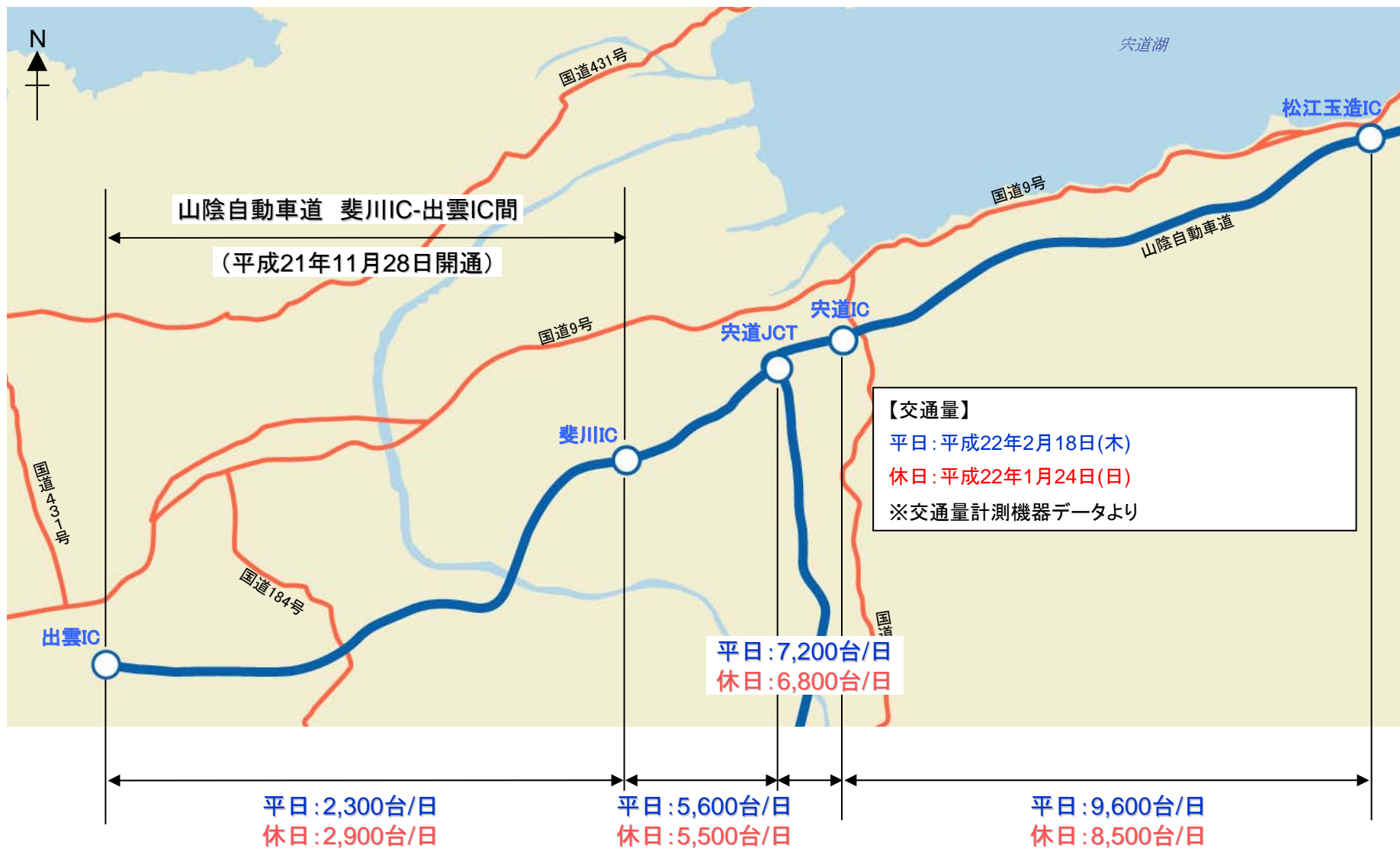
調査設計課長 : かだ あつみ 加田 厚 (内線451)

電話 0852-26-2131(代表) FAX 0852-22-9731
0852-60-1345(調査設計課直通)

●山陰自動車道 斐川IC-出雲IC間 現在の交通利用状況

平日・休日

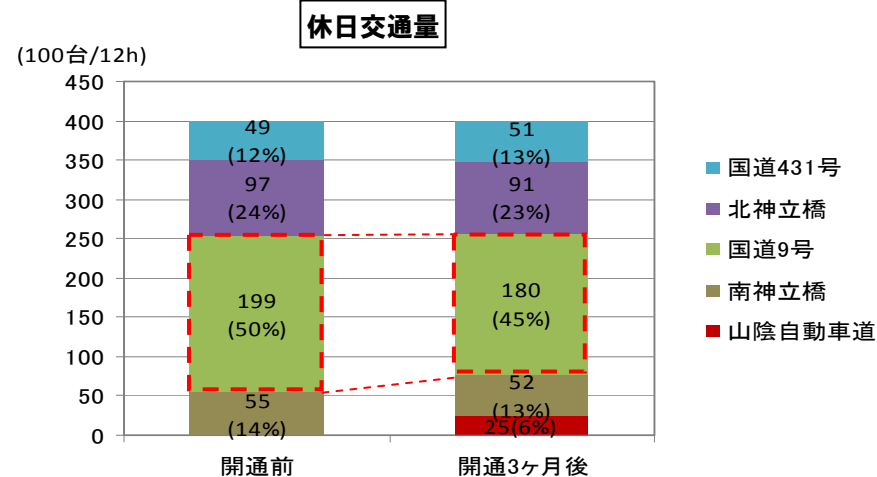
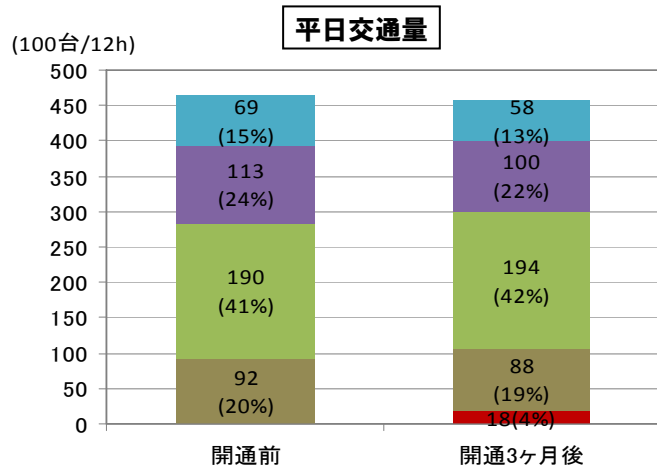
・新規開通区間の斐川ICから出雲IC間の利用交通量は、平日2,300台/日、休日2,900台/日



●山陰自動車道 斐川IC-出雲IC間 整備効果1-1 一般道路の交通が山陰自動車道に転換しました！

平日・休日

・斐伊川渡河部付近を通過する断面交通量で見ると、平日では1,800台/12h(4%)、休日では2,500台/12h(6%)が一般道路から山陰自動車道へ転換。休日は主に国道9号を利用していた通過交通が転換したことが考えられます。



【平日調査日】
 ・開通前:平成20年2月14日(木)
 国道431号のみ 平成21年11月18日(水)
 ・開通3ヵ月後:平成22年2月18日(木)

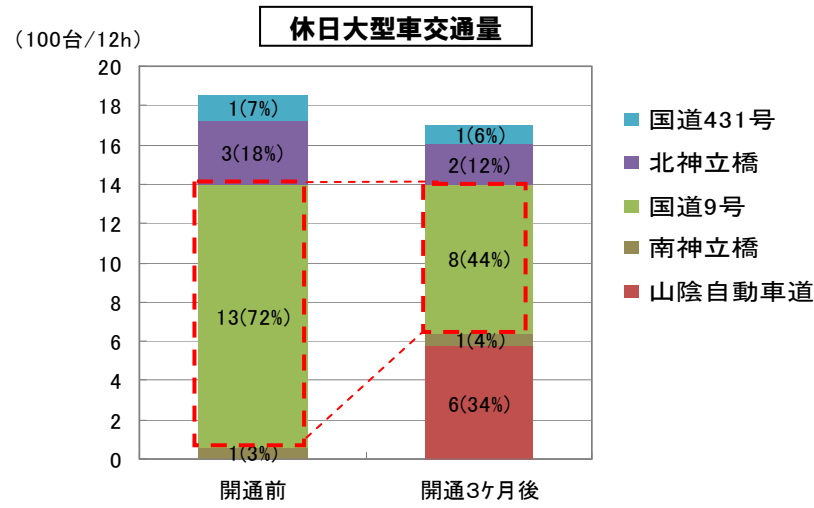
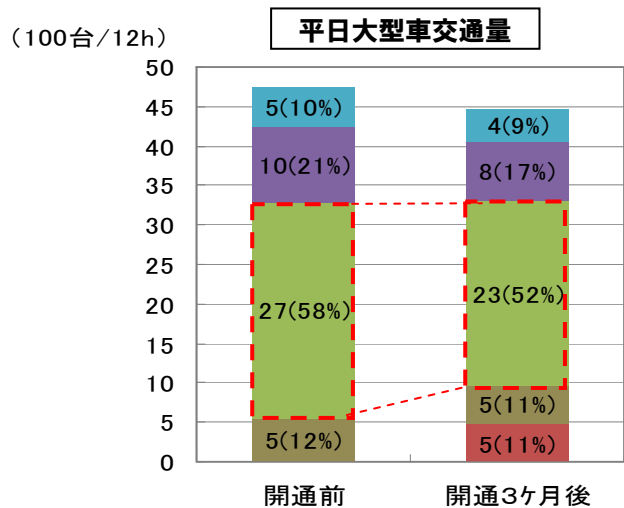
【休日調査日】
 ・開通前:平成20年1月27日(日)
 国道9号のみ 平成21年11月15日(日)
 ・開通3ヵ月後:平成22年1月24日(日)

※高速道路の交通量は交通量計測機器データ
 ※12h交通量は、7:00~19:00

●山陰自動車道 斐川IC-出雲IC間 整備効果1-2 一般道路から大型車が多く転換しています！

平日・休日

・斐伊川渡河部付近を通過する大型車の断面交通量でみると、平日では約500台、休日では約600台が一般道路から山陰自動車道へ転換しています。特に休日の観光バスなど大型車の利用割合が高いようです。



【平日調査日】
 ・開通前:平成20年2月14日(木)
 国道431号のみ 平成21年11月18日(水)
 ・開通3ヵ月後:平成22年2月18日(木)

【休日調査日】
 ・開通前:平成20年1月27日(日)
 国道9号のみ 平成21年11月15日(日)
 ・開通3ヵ月後:平成22年1月24日(日)

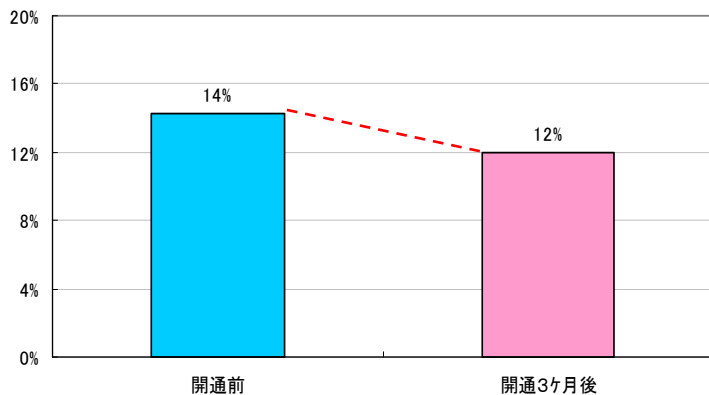
※高速道路の交通量は交通量計測機器データ
 ※12h交通量は、7:00~19:00

●山陰自動車道 斐川IC-出雲IC間 整備効果1-3 国道9号の大型混入率が低下しました！

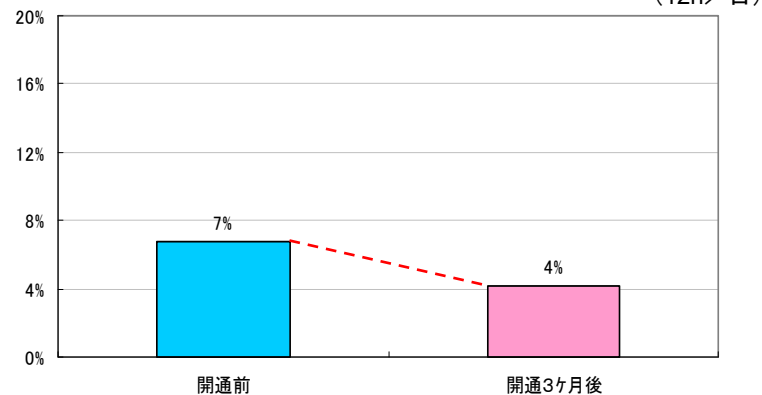
平日・休日

・国道9号の大型車混入率をみると、開通3ヵ月後では整備前と比べ、大型車の混入率が低下しており、一般道路の沿道環境の改善に寄与しています。

国道9号の平日(12h)の大型車混入率



国道9号の休日(12h)の大型車混入率



【平日調査日】
 ・開通前:平成20年2月14日(木)
 ・開通3ヵ月後:平成22年2月18日(木)
 【休日調査日】
 ・開通前:平成21年11月15日(日)
 ・開通3ヵ月後:平成22年1月24日(日)
 ※12h交通量は、7:00~19:00

●山陰自動車道 斐川IC-出雲IC間 整備効果2 出雲市街地を通過する**所要時間が短縮**しました！

平日・休日

- ・斐川ICから大島交差点まで(大田方面行き方面)の所要時間は、山陰自動車道を利用することで14分となり、開通前の国道9号利用時より**14分の時間短縮**が図られました。(※この所要時間は平日・休日とも同じ値でした。)
- ・更に、**国道9号でも5分の時間短縮**が図られました。

斐川IC～大島交差点の所要時間

【国道9号利用】
開通前：28分⇒開通3ヵ月後：23分
(5分短縮)

【調査日】

開通前

平日：平成21年11月18日(水)
休日：平成21年11月15日(日)




開通3ヵ月後

平日：平成22年2月18日(木)
休日：平成22年1月24日(日)

※山陰自動車道は70km/hとし、ICまでのアクセスは実測

※調査時間は7:00～10:00及び16:00～19:00

凡 例

	高速道路
	一般国道
	主要地方道
	都道府県道
	都市計画道路

【山陰自動車道利用】

開通後：14分

(開通前の国道9号利用時より14分短縮)



●山陰自動車道 斐川IC-出雲IC間 整備効果3 企業も出雲ICを活用しています！

企業への影響

・現在、全便が利用しているわけではないが、関東・関西などの長距離運行で利用している。ピーク時間帯では20分近く時間短縮が図られたと思う。（物流業）

・出雲ICの供用により、製造品の出荷量についての変化はないが、関東、関西方面への出荷時の路線の選択肢が広がったことは間違いなく、緊急時の対応が可能になった。（製造業）

・社外、社内問わず、来客の方のアクセスが非常に便利になった（車利用では出雲ICと長浜工業団地が1本で接続した。また、出雲空港までアクセス時間が短縮し便利になった）。（製造業）

・夕方のピーク時には斐川出雲間の利用により20分位の時間短縮が図られた。また、高速道路は交通事故の危険性が低く、安全確保の面からも非常に助かる。（物流業）

・長浜工業団地としても出雲ICから直結の団地ということで誘致のPRになるのではないかと。（物流業）

※長浜工業団地企業へヒアリング

広域観光

・高速道路ができたことによる新しいツアーではなく、既存のツアールートを変更した。道路ができたことによる時間短縮で、出雲大社周辺での滞在時間の増加や、宿泊先への到着時間が早くなったと思う。

※出雲方面ツアーを販売する旅行会社へヒアリング

